

メタボや精神疾患 リスク

全国健康保険協会（協会）が、

（群馬）群馬支部は5月から、加入者が対象のサービス。

生活習慣病や精神疾患にかかると、携帯電話かパソコンを使い、

リスクを自己診断できるサービスを開始。指定された番号を入力すれば、

無料で利用できる。メタボ、このころの体温計は、13問の

どを使ってゲーム感覚で心と「度」や運動不足の状況などを

体の健康状態をチェックでき示す「メタボセルフチェック 持ちの落ち込み度を4段階で

携帯で気軽に自己診断

る。同協会の都道府県支部で「システム」と、ストレスの種

は初の試み。本県はメタボリ「システム」と、ストレスの種

ック症候群（メタボ）になる「メンタルセルフチェック」の2部構成になっている。

リスクのある人の割合が高い「計」の2部構成になっている。

上に、精神疾患も全国的に広「計」の2部構成になっている。

がっており、心と体の健康に「計」の2部構成になっている。

対する意識啓発が必要と判断「計」の2部構成になっている。

重を入力して該当する項目を

選ぶと、メタボ度を5段階で

評価。キャラクターのタヌキ

の太り具合で表示する。

このころの体温計は、13問の

質問に答えるとストレスや気

持ちの落ち込み度を4段階で

来月から無料サービス

協会けんぽ
群馬支部

が、2008年度の特定健診

でメタボリスクの高い人の割

合は男性17・9%、女性3・

5%と、全国平均をそれぞれ

1・4割、0・7割上回った。

うつ病など精神疾患の患者も

増えており、同支部は今後、

医療費が増えることを懸念。

加入者が気軽に利用でき意識

啓発の効果も期待できると考

え、サービス提供を決めた。

同支部には中小企業の従業

員と家族計56万人が加入して

おり、「人に言いづらい情報

も気兼ねなく入力できる。自

分の健康を見直すきっかけに

してほしい」と利用を呼び掛

けている。